

私たち、僕たちが  
大好きな先生



Profile ●Dan Nguyen(ダン・ウイン)  
アメリカ合衆国の大学で学び、日本に約半年間留学した経験をもつ。大学を卒業後、栃木県の公立小中学校で教壇に立つ。その後、横浜市の公立中学校に約11年間勤務する。その間に、日本の授業の形式や教え方などを学ぶ。品川翔英中学校・高等学校には、2021年から勤務。同校で中学生の英語授業を担当するほか、中学英語科主任なども務める。

品川翔英  
[東京都品川区・共学校]

この学校の情報は「School-pot」へ



●英語科

Dan Nguyen 先生

英語の授業を行うウイン先生。授業は全て英語で進行します。動画の視聴や対話の時間もあり、活気に満ちています。



## 教育とは 次世代の人へのパス

長年日本に滞在し、英語教育に携わってきたダン・ウイン先生。世界中の人々とコミュニケーションをとることをめざした英語の授業はとても活気があり、テンポよく進みます。英語教育だけでなく、日本人教員と同じように生徒の指導や育成にも尽力し、生徒たちから慕われています。

### 英語を学び「世界へ冒険に行く」意識を

▼ウイン先生の授業を拝見しましたが、とても活気があって楽しそうでした。先生はどのような経緯で品川翔英の先生になられたのですか？

アメリカの大学に在学中、日本の大学に留学したことがきっかけです。子どもの頃から日本の文化が大好きで、日本語も学びたかったのですが、大学卒業後、日本の公立校で教員になり、12年間教員生活を送りました。品川翔英に赴任して、今年で3年目になります。

現在は、中学英語科の主任を務めています。またメンターとして担任をしています。本校では、授業を受ける先生とは別に、自分を指導する先生(メンター)を生徒が選ぶのです。

本校には13名のネイティブ教員が在籍していますが、全員がメンターを担当するほか、委員会活動などにもかかわっています。

英語の授業は多くの学校では、日本人教員とALTが2人1組で授業にあたるケースが多いと思いますが、本校ではネイティブが1人で授業を進めます。また、さまざまな場面でネイティブ

全力で取り組んでほしいです。ただし、学びのスタイルは人それぞれ。例えば、私は生徒や同僚との会話を通して日本語を覚えました。他のネイティブ教員は、毎日少しずつ新しい単語を覚え、日本語を習得しました。自分に合う学びのスタイルを見つけ出してほしいですね。現代は、さまざまなアプリや動画などがあるのでインプットはしやすいです。その後のアウトプットが重要です。英語で日記をつけてもいいし、英語で友達とおしゃべりしてもいい。英語を使う経験を増やすことが大切です。授業でのアウトプットがなかなかできない生徒もいますが、本校ではその壁を壊せるように工夫しながら、アウトプットの機会をたくさん設けています。

### 教育とは 次世代の人々へのパス

▼生徒と接するとき心がけていることは？

授業中の声かけや日々の挨拶など、生徒と話す機会を多くつくるように心がけています。そして一人ひとりを理解し、仲良くなること。すると、その生徒にはどういふサポートが必要なのかもわかってきます。また、いつもそばにいて、英語についての質問はもちろん、そのほかの相談にも応じること

ブ教員と日本人教員が互いにサポートしあっています。

私は日本に来て15年になるので、日本語の日常会話は問題ありませんが、たまに特別な単語が出てくると、同僚の先生に教えていただいています。一方で先生方が忙しくて手が届かない部分は、ネイティブ教員が積極的にサポートします。こうしてみんなで団結して温かい学校をつくっています。

▼英語の授業は、どのようなことを目標にしていますか？

私学には、生徒の希望する進路を実現させる努めがあります。英語は入試で大きな役割を果たす教科ですから、しっかり伸ばす必要があります。

ただその一方で、英語は世界へ飛び出すためのスキルであり、ツールであることも重視しています。英語を学ぶことは、他国の文化に接して興味をもち、「世界は広い。さあ冒険に出かけよう」という意識につながります。その時に大切なのは、自分で考える力と、コミュニケーションする力です。英語の授業を通して、そのような意識と能力が育ってほしいと思っています。

▼英語の授業ではどのような工夫をしていますか？

「5ラウンドシステム」のような手法で、信頼できる教員とってもらえるようにしています。

「今の私は、生徒のおかげでできている」といっても過言ではないくらい、生徒からたくさん学びました。良い経験もありましたし、つらい経験もありました。授業のスタイルも、さまざまな経験を踏まえて形づくってきました。生徒の情熱やワクワクを手伝いたいし、ご家庭での不安や心の問題を抱える生徒にもしっかり対応したいです。

▼今後の展望をお聞かせください。

私は教育とは「次の世代の人々にさまざまなものをパスする(伝える)こと」と捉え、次世代の人々のために働いている意識をもっています。楽しく学びやすい授業を作ると同時に、進学や英検合格の実績を高めることも目標に据え、本校の英語教育のカリキュラムデザインや将来の計画を作っています。

高校まで学び続ければ、世界中の人々と、自分の意見を加えつつ英語でコミュニケーションがとれること。また、高い人格をもった人物を育てることも目標です。そうした人物が心と心でコミュニケーションをとれば良い仲間ができるはずで、みんながそういう意識をもてば世界平和にもつながります。本校では、そんな人材を育てていきたいと思っています。



生徒からの質問には、ていねいにわかりやすく答えます。

採用していて、教科書を5回、切り口を変えて繰り返し学ぶようにしています。1回目はリスニングのみ、2回目はスピーキング、3回目以降にはライティングを加え、理解を深めていきます。また、英語でのコミュニケーションが円滑になるように、会話をする機会も多くとっています。あるテーマに沿って、相手の話を聞いていかに聞き、自分の考えを話す。その際、できるだけ学んだ文法を使うようにしようとも言っています。中1の頃は2分間話すのに大変苦労していますが、中3では10分間でもスラスラ話せるようになることを目標としています。

▼生徒には、どのように英語に取り組んでほしいですか？

### ▼生徒の声



ウイン先生と中3生のみなさん。

M.A.さん●ウイン先生の授業は、意見を言いやすく、英語での対話の時間も多いため、英語力が身につきました。

I.H.さん●以前の僕は、文法はできたのですが、英語を話すことが苦手でした。授業で話す機会が多いので、スピーキングの力がつきました。世界で通用し、たくさんの人と話せる力もつく授業だと思います。

W.M.さん●先生は面白くて、いつも笑いが絶えません。いろいろな相談もしやすいです。

A.M.さん●グループワークが多く、わからなかった部

分を共有して理解できるようになりました。

K.K.さん●絵を描いて説明してくれるところがいいです！ 私たちがわかりやすい英語で話してくれます。

I.T.さん●先生は行事にも積極的に参加してくれます。動画を見て関連する単語を学ぶ授業スタイルがわかりやすく自分に合っていると思います。英語はもちろん、いろいろな国の文化も学べます。

K.Y.さん●ウイン先生は元気いっぱい、ユーモアにあふれ授業が活発です授業が段階的に進むので、わからないところは集中的に教えてくれます。